

## ディプロマポリシー（学位授与の方針）

【2017・2018 年度以降入学生】

キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解し、看護専門職を目指す者として、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングの実践者としての態度を身につけているとともに、高度の看護知識と技術に基づく科学的な看護実践能力を具備していることを求め、以下のとおりディプロマポリシーを定めます。

### －知識・理解－

1. キリスト教的人間観に基づく、生命の価値、人間の尊厳について理解している。
2. 豊かな人間性の基礎となる教養を身につけている。
3. 看護実践に必要な基本的かつ専門的知識を身につけている。

### －思考・判断－

4. 論理的、科学的思考に基づいて看護実践の場における諸問題を発見することができる。
5. 看護実践の場における問題を解決するための実践的な判断力を身につけている。

### －技能－

#### <汎用的技能>

6. 国際化する現代社会において必要とされる基本的な語学力・コミュニケーションスキルを身につけている。
7. 情報化する現代社会において必要とされる I C T を用いて多様な情報を適切に収集・分析し、モラルに則って効果的に活用することができる。

#### <専門的技能>

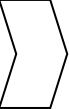
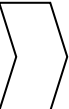
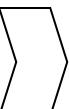
8. 看護実践に必要な基本的技術を身につけている。
9. 科学的根拠に基づいた看護を提供できる。
10. 看護専門職を目指すものとして、常に倫理的姿勢を持ち、人々に関心を寄せるケアリングを実践できる。




### －関心・意欲・態度－

11. 多様な価値を持つ人々を尊重しようとする姿勢を身につけている。
12. 保健医療福祉にかかわる多職種と協調し、リーダーシップやフォロワーシップを発揮する能力を身につけている。
13. 地域社会や国際社会の発展を追究し、主体的に貢献する姿勢を身に着けている。
14. 看護学の発展に寄与することを望み、生涯に亘り主体的に探求する姿勢を身につけている。

【2016 年度以前入学生】

本学の教育理念、建学の精神、教育目標を実現することを意図したカリキュラムを編成し、卒業までに、以下にあげる到達目標を身につけ、所定の単位を修得した学生に、学士（看護学）の学位を授与する。

|   | 教育目標   |   | 卒業時の到達目標  |
|---|--|---|---|
| 1 | <p>人間についての真理を探究し、人間の尊厳、すなわち個々の人間の存在そのものに価値を見出し、生命を尊重することができる豊かな人間性を養う。</p>                         |    | <p>1. 「カトリックの愛の精神」に基づく、生命の価値、人間の尊厳について考え、保健医療福祉における全人的ケアの基本を身につけることができる。</p> <p>2. 医療技術の進歩に伴う人間の生存と派生する諸問題を学び、人間の尊厳を尊重した社会の在り方を考え、倫理的本質を探究することができる。</p> |
| 2 | <p>人間存在の本質的要素であるケアリングを本学の看護の基本概念とし、さらに看護専門職としてのケアリングを修得することにより、人々の健康に携わることができるよう専門的看護の実践能力を養う。</p> |  | <p>3. 他者との相互作用、人間関係の諸側面について理解し、人間の心理や行動に関心を持つことができる。</p> <p>4. ケアリングを基本概念とする理論であるロイ適応看護モデルを理解することができる。</p>  |
| 3 | <p>看護専門職として科学的思考と問題解決能力を具え、対象が自己実現に向かって向上できるよう、全人的に看護する能力を養う。</p>                                  |  | <p>5. 人間の生命現象、疾病の原因や成り立ちを学び、健康の維持、増進に向けての医療の基礎を習得できる。</p> <p>6. 看護の概念、本質の理解を基盤に、小児期から老年期に至る発達各期の人間の健康の維持、回復、増進を阻害する要因を理解し、看護介入のための知識、技術を習得できる。</p>      |

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 4 | <p>看護学を体系的・学際的に捉え、探求する姿勢を身につけ、将来、看護に貢献できる自主的な学習能力を養う。</p>           |    | <p>7. 保健医療福祉のそれぞれを必要とする段階において、看護学の体系的学びを実践学習のなかに関与することができる。</p> <p>8. 学習体験から課題を発見し、根拠ある看護実践について継続的に探究し学習していく能力を身につけることができる。</p>                  |
| 5 | <p>保健・医療・福祉の質の向上を目指し、時代と地域のニーズに合わせて、看護専門職が担うべき責務と役割を開拓できる素地を養う。</p> |    | <p>9. 情報処理、危機管理、他の専門職種との協働を理解し、看護職の責務とともに医療安全管理の能力を身につけることができる。</p> <p>10. 保健医療福祉制度、医療資源、医療経済について学び、批判的に吟味し、将来の課題と看護職の役割を見いだす能力を身につけることができる。</p> |
| 6 | <p>国際社会に貢献できる能力を養う。</p>   |  | <p>11. 異文化理解の姿勢と学びを深め、国際看護、国際保健医療福祉において貢献しうる国際的通用性の重要性を理解することができる。</p>   |